

『いろは文庫』から英訳本に採用された話：

- ① 第3回・第4回：岡野三十郎が、お静を介して、吉良邸の絵図面を手に入れる話。
- ② 第7回：大石が討ち入りの前日に、浅野長矩の妻に別れを告げる話。
- ③ 第8回：討ち入りのあとで、大石からの報告と荷物が長矩の妻に届けられる話。
- ④ 第9回・10回・11回：磯貝十郎左衛門と妻との出会いと別れの話。
- ⑤ 第14回：武林唯七の母が息子が心置きなく働けるように、自害した話。
- ⑥ 第15回・16回・17回：赤垣玄蔵の話。飲んだくれの玄蔵が兄に暇ごいをするが、兄は主君の仇討ちもしない弟に愛想をつかす。討ち入りの「義士」の中に弟がいると下男に教えられ、しかも弟の形見の品をもらって兄が感激する話。
- ⑦ 第19回：大石がお軽と知り合った次第。
- ⑧ 第20回・23回：吉良家用人の小林平八郎が、心中未遂の男女を助けて彼を一角の商人に育て上げる話。討ち入りの前夜に小林が、一人娘をその商人夫婦に預ける話。
- ⑨ 第21回：討ち入りの夜、浪士らが集まったうどん屋にて、主人と浪士らの俳句をやり取りしての心の交流の話。
- ⑩ 第22回：大石の東下りの次第。
- ⑪ 第24回：川越人足にからまれた娘を助けた不和数右衛門が、赤穂へ主君の死を知らせる使者に出会った話。
- ⑫ 第25回：長矩が勅使接待役となったことを知って、吉良への賂を用意した大石の心配りが、吝嗇な江戸家老によって無に帰する話など。
- ⑬ 第26回：赤穂城に集まった家臣らのやりとり。
- ⑭ 第27回・28回：病気に伏せる片岡伝五右衛門を介抱する下男元助。しかしこれは彼等を憐れんだ浅野稲荷の使いの神狐が元助に化けて、二人を助けたはなし。片岡の家族が本物の元助をつれて江戸に下ったことでことが露見する。

一世・為永春水の作になる話



- ⑮ 第34回：吉良の抱え医者・蝶庵の話と、蝶庵を騙して、神狐の化けた元助が、主人のために葉をせしめる話。
- ⑯ 第79回・80回：大石が同士の真意を確かめるために、一度神文を返す。このことの意味を測りかねた小野寺・神崎らが大石の心の内を推理する話。
- ⑰ 第81回・82回：原郷右衛門東下りの話。母と妻に暇乞いをするが、心が揺れている息子を見て、母は自害する話。
- ⑱ 第87回・88回・89回：小野寺十内の東下り。妻お丹との別れと往復書簡。

二世・為永春水の作になる話



※ 採用された話を見ると、殿中刃傷から討ち入りまでの主なエピソードと、討ち入った浪士らの心情がよくわかる逸話を中心に採用されている。しかも大部分が、一世・為永春水の作。

『いろは文庫』の話で英訳本には採用されなかった話

- ① 第1回・2回：小山田庄左衛門脱盟の次第（息子の脱盟を知った父の自害。息子は大石から浪士らへと託された大金を届ける途中で、元赤穂藩の同僚が開いた茶屋の娘と懇ろになり、金を持って逐電した。
- ② 第5回・6回：大鷲文吾が俳諧師らと懇ろになり、吉良邸茶会の情報を得た次第。
- ③ 第12回：杉谷半之丞脱盟の次第（義母との不義を疑われ出奔）。
- ④ 第13回：古今の仇討ちの歴史と、浅野と吉良不縁の次第の考察。
- ⑤ 第18回：討ち入った浪士らと脱盟した浪士らの不仲の話。脱盟した60余名のリスト。
- ⑥ 第29回：茅野和助が吉良方の間者を討って災難を免れた話。
- ⑦ 第30回：風間新六の遺骸が縁者に引き取られた次第。武林唯七の妻の後日談。

一世・為永春水が作った話

- ⑧ 第31回・32回：吉良を討ち取ろうとして失敗したというちまたの話。
- ⑨ 第33回：高田軍兵衛の脱盟の次第。
- ⑩ 第35回：浅野家の過去の話。清廉な家臣を誤って成敗したことがお家滅亡につながる。
- ⑪ 第36回・37回・38回・39回・第40回・第41回・第42回・第43回・第44回：長矩在世中の話。赤穂藩士が酔っ払いに絡まれているのを助けた娘・お民の後日談。
- ⑫ 第45回・46回・47回・48回・49回・50回・51回：大石瀬左衛門の若き日の武勇談。剣の修行に明け暮れるが、近江の剣士の娘に破れ、何年もかけて再修業し、見事娘に勝って妻とする話。
- ⑬ 第52回・53回・54回・55回・56回・57回・58回・59回・60回・61回・62回・63回：牛尾田政之丞の父の若き日の武勇談。
- ⑭ 第64回・65回・66回・67回・68回・69回：若村寒助の貧乏話と、討ち入り後の彼の妻の後日談。
- ⑮ 第70回・71回・72回・73回・74回・75回・76回：相原江介が商人となり、吉良邸出入の商人の妻を口説いて懇ろになり、吉良邸の情報を得る話。
- ⑯ 第77回・78回：大石が京で遊興のとき、吉良方の間者に襲われた話。
- ⑰ 第83回・84回・85回・86回：京の大石の動静を探るため下女として潜り込んだお針の話。
- ⑱ 第90回・91回・92回・93回：相原江介と商人の妻お蘭の話の続き。
- ⑲ 第94回・95回・96回・97回・98回：近松諫六と従僕甚三郎の話。主従の出会いと討ち入りでの彼等の活躍。
- ⑳ 第99回・100回・101回・102回・103回・104回・105回・106回・107回・108回：元赤穂藩士の鋸屋宗伴は、吉良邸出入の商人の息子が娘にぞっこんなのを利用して、娘の嫁入り話をネタに、吉良邸の様子を探る。

二世・為永春水が作った話

※ 英訳本に採用されなかった話は、脱盟者の脱盟の次第の話や、討ち入り後の家族の後日談、そして討ち入りには関係のない浅野家の昔の話。そして浪士が討ち入りのために情報を得るための様々な工作の中で話の長いものは省かれている。二世為永春水の作った話の大部分が不採用。